

- ☆第84回埼玉県中央メーデー
- ☆地協メーデー
- ☆拡大執行委員会
- ☆男女平等月間の取り組み / 女性のためのSTEP UPセミナー
- ☆公職選挙法学習会 / 青年委員会交流会
- ☆最低賃金街宣行動の取り組み / 6月の行動日程
- ☆あけぼのビル



メーデーは働く人たちが主役。
声をひとつに仲間を集めて、
安心して暮らせる未来をみんなで作ろう!

第84回埼玉県中央メーデーを開催

4月27日(土)、さいたま市大宮区「鐘塚公園」において、第84回埼玉県中央メーデーを5,396名の参加のもと開催した。

昨年に引き続き、東日本大震災からの復興を最重点におき、式典および、模擬店などの販売に至るまで、被災地ならびに震災避難者支援を念頭におきながら、従来のメーデーの考え方や目的を踏襲し実施した。

冒頭、小林会長の挨拶では、「1886年シカゴで始まったメーデーでは、人間らしい生活を求めて8時間労働制の実現のため立ち上がった。127年たった現在においても、メーデーは働く人が主役の祭典である。また、3・11東日本大震災から2年以上が経過したが未だ、避難生活を余儀なくされている方は30万人を超え、埼玉県内での避難者は7,000名近くを数える。震災を風化させず、復興再生に向けて、働くことを軸とする安心社会の実現をキーワードに連合埼玉らしい支援を継続していく。また、不安定雇用と低収入層の増大が少子化に拍車をかけており、人間らしい働き方ができる労働者を増やすために組織拡大に取り組み、「20万連合埼玉」をめざす。さらに、今夏の参議院議員選挙では、連合組織内候補9名と埼玉選挙区の「山根りゅうじ」氏の勝利に向け全力で取り組む」と決意が述べられた。

また式典の中で、県内避難者の方々への就業支援として開講したヘルパー2級養成講座の受講修了証授与式を行い、受講者を代表してメーデーに参加された杉戸元気会の3名の方に小林会長から受講修了証が手渡され、杉戸元気会の佐藤代表より謝辞を頂いた。

会場内では、県内避難者支援カンパを兼ねた模擬店での物産販売と同時に、県内に避難されている方々も運営に加わり「浪江焼そば」や「味噌まんじゅう」の販売、整膚コーナーを設置するとともに、風評被害で苦しんだ埼玉県ブランド品の狭山茶を応援するため、狭山茶関連商品の販売コー



小林直哉
連合埼玉会長



上田清司
埼玉県知事



宮本重雄
埼玉労協副理事長



清水勇人
さいたま市長



大島敦
民主党埼玉県連代表



山根隆治
参議院議員



小島進
深谷市長

ナー等を設け、皆様のご協力により全ての商品売り切ることができ、模擬店によるカンパ金は160,528円となった。会場内で行ったカンパ協力金476,708円との合計637,236円は、県内避難者支援として活用していく。

サブスローガンである「震災を風化させず、復興再生に向け、いま一度、働く仲間の支援の輪を広げよう!」をキーワードに、県内に避難されている方々が安心して生活できる土台を築くために、連合埼玉としての支援を継続していくことが確認された。



「はだかの王様」ショー



お楽しみ抽選会



ゴーバスターズと握手!



県内避難者支援・受講修了証授与式



司会:佐藤道明事務局長



司会:吉川和美さん
(女性委員会)



第84回 埼玉県中央 メーデー開催



メーデースローガン:
佐藤樹利さん(女性委員会)



メーデー宣言:
沼田賢洋さん(青年委員会)

出 展



ドリンクコーナー



被災地域の物産販売



狭山茶販売



整膚コーナー



双葉町 まんじゅう販売



中央ろうきん・全労済・パルシステム埼玉



浪江町 浪江焼きそば

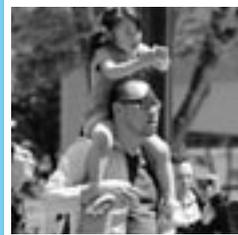


埼玉労福協

会 場



連合埼玉推薦地方議員のみなさん



家族連れも
多く見られま
した!



団結ガンパロー

地協メーデー・前夜祭 開催模様

さいたま市地域協議会

- ◆2013年4月26日(金)
さいたま市民会館おおみや・小ホール 163名
- ◆式典、アトラクション(矢澤啓史、マッソー井上)、抽選会

式典では来賓の連合埼玉中沢副会長、武正公一衆議院議員、山根隆治参議院議員より、来たる勝負の時への決意が力強く述べられました。またアトラクションでは、福島の被災地で活動を続ける和太鼓奏者、矢澤啓史さんによる力強い演奏が会場内を魂の響きで埋め尽くし、市議会議員からお笑いの道に華麗なる転身を果たしたギター漫談家マッソー井上さんは、笑いヨガや時事ネタを素敵なメロディに乗せて披露され、会場から大きな笑いを誘いました。

豪華賞品を取り揃えた抽選会では、労金大宮支店の福田さん、細井さんの爆笑進行も相まって、場内大盛り上がりを見せたメーデー前夜祭となりました。



北埼玉地域協議会

行田地区

- ◆2013年5月1日(水) さきたま古墳公園 300名
- ◆式典、アトラクション、抽選会

天候のいい中、山根隆治議員も駆けつけてくださり、大勢の参加者で式典が開催され、式典後のお楽しみ抽選会では和気あいあいと盛り上がりました。



羽生地区

- ◆2013年5月1日(水) 中央公園自由広場 270名
- ◆式典、お楽しみ抽選会

メーデー宣言採択後のお楽しみ抽選会では、多数の賞品が用意され盛り上がりました。



本庄・児玉郡市地域協議会

- ◆2013年4月28日(日)
本庄市役所 412名
- ◆式典、抽選会、デモ行進

当日は多少風が強かったものの、天候にも恵まれ約400名の参加者が集まり盛大に開催されました。昨年に引き続き本年度も“お楽しみ抽選会”で東北地方復興のお手伝いとして現地の物産を中心に多くの景品を嬉しそうに持って帰って頂きました。

最後に、本庄警察署のご協力を頂き、本庄市役所から本庄駅まで約1kmを行進し、同じ地域で働く仲間との交流を深めることができました。



秩父地域協議会

- ◆2013年4月28日(日)
秩父ミュージックパーク 742名
- ◆式典、抽選会、震災支援カンパ、子供風船配付、じゃんけん大会

雲ひとつない晴天のもと開催された、第84回秩父地域メーデーは、参加した家族、子供達の笑顔で満ち溢れていました。今、働くことを軸とする安心社会実現に向けて、我々労働団体が果たしていかなければならない役割と責務を改めて考えるメーデーとなりました。



下半期活動の心あわせ

～2013年度拡大(第6回)執行委員会開催～

5月8日(水)さいたま共済会館にて、2013年度拡大(第6回)執行委員会を構成組織代表者12名、地域協議会代表者11名の参加のもと開催した。

冒頭、小林会長より「中央メーデーおよび地域メーデー開催に対するお礼、今夏の参議院議員選挙の取り組み状況や現在の情勢。2013春闘の県内の状況では、いまだ3割が交渉中であること。そして今年度も活動方針の大きな柱である「組織拡大」について、引き続き構成組織、地域協議会のサポートをお願いしたい」との挨拶がされた。続いて一般活動報告、今年度の上半期活動評価・下半期の主な活動に続き、上半期の決算報告、その他議案を含めて活発な質問・意見交換が行なわれ協議事項が満場一致で確認され、下半期活動への意思統一がはかられた。

主な質問・意見・要望

政策実現アンケート結果の参院選へのフィードバックについて

Q. 政策実現アンケートの結果を受けて、今後のフィードバックをどのように考えているのか。

A. 連合埼玉としても早急にまとめ、今後の方針をどうするかなどについては、本日の「次期国政選挙の対応方針について(その4)」を確認いただき、随時、取り組みを展開していく。

連合埼玉の地域ミニマム賃金に対する経営諸団体の受け止めについて

Q. 第三次行動で、埼玉県の実業者団体に要請行動をしているが、その際、経営者団体の反応があれば教えて欲しい。

A. 私たちが要請している「35才222,000円以下の賃金をなくす」地域ミニマム運動については、その水準は決して高くはないという認識はおおむね持っており、運動についても理解されている。関連の組織に周知していただいているが、経営者団体の中には、中小・零細企業を中心とする団体もあることから、経営環境が厳しいというコメントもいただいている。

県内避難者の住宅問題について

Q. 県内避難者の関連で、国の政策で、アパートなどの住宅の契約が1年更新となっている。このことから避難者からは、非常に生活が不安定であり、何とかできないのかということを知った。

A. 大事なことは、その場所において、仕事をし、働く、コミュニティをつくること。その部分も含めて、現状維持で生活再建をはかれないか、というような形の要請が必要になってくると思われるので、避難者と相談させていただきながら進めていきたい。

組織拡大の具体的展開について

Q. 組織拡大の3つの目標に対して、具体的にどの様に展開していくのか。

A. 連合本部は、「1,000万連合」を掲げているが、まだ、意識合わせ・認識合わせの段階であると思われる。これから、いろいろな展開が出てくると思うが、そういうものも含めてその都度対応していく。ただ、今までの様に、産別まかせではなく、連合埼玉も一緒に取り組んでいくということを理解していただきたい。

運動方針へ「男女平等参画」明記について

Q. 本質的には記入するかしらないかではなくて、各組織の中でどれだけしっかり議論するかということではないか。

A. 明記することを目指しているのではなく、議論した上で、議案書に載せていただき、最終的に男女平等の取り組みが推進されることが望ましいと考えている。

様々な意見や要望が出されました。



平尾執行委員
(電機連合)



小嶋執行委員
(JAM埼玉)



川越・西入間地域協議会
瀧澤議長
(JP労組)



比企地域協議会
徳江事務局長
(JAM埼玉)



西部第四地域協議会
大賀議長
(電機連合)



羽田野会計監査
(基幹労連)

2013年度 連合埼玉「男女平等月間」の取り組み



目的	連合埼玉は、男女平等参画社会に関する組合員の理解を深め意識を高めることを目的とし、2013年度は次の取り組みを6月の期間に実施します。
実施期間	平成25年6月1日(土)から6月30日(日)
連合埼玉の取り組み	①男女平等月間アピールポスターの作成 ②男女平等参画推進「トップ宣言」ポスターの作成 および機関紙マンスリーへの掲載 ③「男女平等参画推進トップセミナー」の開催 開催日 9月上旬予定 場 所 さいたま市内

～女性が労働組合で輝くために～

『女性のためのSTEP UPセミナーに参加して』

女性委員会では、組合活動へ女性が積極的に参加・参画を進めるために、女性役員の育成を目的とした研修等を継続的に行っている。今年度も「女性が労働組合で輝くために」と題して4月25日に共済会館において、2部形式で開催した。

冒頭、女性委員会・上杉委員長ならびに連合埼玉男女平等参画推進委員会・小室委員長の挨拶を受けた後、第1部はラポール企画・大小原利信氏を招き、コミュニケーション研修として「アサーショントレーニング」を行なった。

「アサーショントレーニング」は、グループワーク形式で、まずはグループ名を決めるアイスブレイク導入でお互いの緊張をほぐすことから始まった。アサーションとは自分の意見を相手にうまく伝えることで、3つの事例についてグループ内で活発に話し合い、考え、発表し合った。

グループワーク前後に行なったナレッジシートの記入と発表から研修の成果をはっきりと感ずることができた。日常の挨拶・感謝・ねぎらいの言葉+笑顔がコミュニケーションの基本であり、自分自身が変えることが大切であることに気づかされた。



男女平等参画推進委員会 小室委員長



女性委員会 上杉委員長



大小原氏による「アサーショントレーニング」



埼玉労働局 安藤局長による講演

また「メンタルヘルス対策の必要性とストレス」の9頁では、社会の変化でうつ病等精神疾患が増加し、成人病は4大疾病から5大疾病と言われる位になっているとのことだ。従来型うつと新型うつの違い、そして発達障害の種類と主な特性についても詳しく聞くことができた。それぞれの対応としては仲間の変化に気づくこと(「ケチな飲み屋」サイン:け→欠勤・ち→遅刻早退・な→泣き言を言う・の→能率低下・み→ミス多发・や→会社を辞めたい)、良いところ探しをしようということであった。

第2部は埼玉労働局長・安藤よし子氏より「ポジティブ・アクションとは?」のテーマで講演を受けた。働く女性の現状と課題として雇用均等行政の歴史に始まり、現在の改正男女雇用機会均等法の変遷を図や統計をもとに解りやすく話して頂いた。これからも女性が活躍、躍進できる社会作りのために自主的かつ積極的な様々な取り組みが行われていけることを強く望み、声を挙げていかねばと思う。

今回のセミナーでは各組織間での学習・交流を通し充実した1日を終える事ができ、第2回目のセミナーの参加を楽しみに解散となった。

女性委員会・幹事 榎本友子(自治労)記

山根議員ならびに組織内候補者9名全員の必勝に向けて

～公職選挙法 学習会を開催～

4月24日(水)ときわ会館にて、参議院選挙に向けての公職選挙法の学習会を開催した。

講師には、富士社会教育センターの中村副理事長をお招きし、組合活動における政治活動と選挙活動の違いから、選挙活動におけるコンプライアンス、また昨今、問題となっている労組での政治会計・選挙会計について、基本となる部分から講義を頂いた。軽快なトークで会場内を和ませながらも、重要ポイントはしっかり押さえた講義であった。各構成組織ならびに各地域協議会から代表者や政治担当者を中心に参加した約80名の受講者は、必死にメモを取りながら熱心に受講されていた。

また、参議院選挙より導入予定の『ネット選挙』についても、講義後半に少しではあるが触れられた。



講師：富士社会教育センター 中村副理事長



あいさつをする山根隆治参議院議員



学習会の様子

私たちが支援する民主党は、今なお厳しい状況が続いている。しかし、労働組合としてコンプライアンスを順守しながら、政治活動・選挙活動を行なうことは何よりも重要である。連合埼玉として、埼玉選挙区『山根りゅうじ』議員ならびに組織内候補者9名全員の勝利に向けて、コンプライアンスを順守した活動を今後も行っていく。

～各地方連合青年委員会との連携強化～

連合群馬青年委員会との交流会

連合埼玉青年委員会は、活動方針に掲げている「コミュニティ・ネットワークづくりの推進」のひとつである、「各地方連合青年委員会との連携強化」を目的に、昨年に引き続き4月23日(火)に連合群馬青年委員会との交流会を行った。交流会にあたり、昨年は、八ツ場ダムの視察などを取り入れたが、昨年度の反省点をふまえ、議論の時間をできる限り多くして、よりお互いの活動内容や今後の計画している活動の理解が深まるよう、今回は意見交換のみを行った。

最初に、お互いの活動に対する考え方や具体的な活動内容について報告した。主な質問や意見では、連合群馬青年委員会の活動の中で、現役高校生を対象に、働くことの大切さを教える「公開みらい学」などに青年委員会役員を講師として派遣していることや女性委員会との合同研修会、署名活動、スポーツ交流会などの連携について関心が高まり、多くの質問をさせてもらった。

また、若者の政治離れに対する内容では、「会社や組合に対する愛社精神的なものがなくなってきているのも原因のひとつではないか」など活発な意見交換が行われた。

最後に、次世代を担っていく自分たち青年層の役割の再認識と今後の連携強化を確認し終了した。



「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーン 最低賃金の引上げと遵守を求める街宣行動の取り組みについて

「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーンの取り組み一環として、「最低賃金の引上げと遵守を求める全国行動」を実施します。これは、非正規労働者の処遇改善に大きな影響がある最低賃金の遵守と引上げについて世論を喚起します。

日時 2013年6月13日(木)18:00～

場所 大宮駅東口

内容 最低賃金の遵守と引上げをアピールする街宣行動

- ①最低賃金の遵守と引上げをアピール
- ②チラシ・ティッシュの配布
- ③街宣車による地域アナウンスの実施
- ④認知度向上のためマスメディアに対する発信

＝ も う す ぐ 選 挙 ＝

東京都議会議員選挙

告示日 2013年6月14日(金)

投票日 2013年6月23日(日)

連合埼玉推薦・組織内候補者

文京区(定数2)	増子 博樹(ますこ ひろき)	52歳	(現2 UIゼンセン同盟東京)
新宿区(定数4)	いのつめささみ(いのつめ ささみ)	56歳	(現2 情報労連東京)
品川区(定数4)	馬場 裕子(ばば ゆうこ)	66歳	(現4 東京教組)
杉並区(定数6)	門脇 ふみよし(かどわき ふみよし)	57歳	(現2 UIゼンセン同盟東京)
江戸川区(定数5)	田の上 いくこ(たのうえ いくこ)	42歳	(現1 JAM東京千葉)
八王子市(定数5)	滝沢 景一(たきざわ けいいち)	46歳	(現1 連合三多摩ユニオン)
三鷹市(定数2)	中村 ひろし(なかむら ひろし)	41歳	(現1 電機連合東京地協)
府中市(定数2)	小山 くにひこ(こやま くにひこ)	36歳	(現1 自動車総連東京)
日野市(定数2)	新井 ともはる(あらい ともはる)	39歳	(現1 情報労連東京)
北多摩第二(定数2)	おきつ 秀憲(おきつ ひでのり)	56歳	(現1 電機連合東京地協)
北多摩第三(定数2)	尾崎 大介(おざき だいすけ)	38歳	(現2 JP労組東京)

現在予定される6月の日程表です

6月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 土	平和集会(13:30～16:30・ときわ会館)	
2日 日		①建設埼玉「第44回定期大会」(10:00～・大宮ソニックシティ) ②北埼玉地域協議会「2013組織代表者会議」(13:10～・ホテル木暮)
3日 月		2013連合全国セイフティネットワーク集会(13:30～17:30・東京ドームホテル)
4日 火	第7回四役・執行委員会(10:00～、13:00～・UDトラックス労組)	安全衛生労使専門会議(14:00～・埼玉労働局)
5日 水		「埼玉の障がい者雇用を進める」関係機関連携会議(14:30～・ホテルプリランテ武蔵野)
6日 木		中央労福協「2013年度全国研究集会」(14:00～ 7日・日航ホテル高知旭ロイヤル)
7日 金	①埼玉シニア連合第5回幹事会(12:00～・連合埼玉会議室) ②埼玉シニア連合「第12回全組織代表者会議」および「結成20周年記念祝賀会」(14:00～・あけぼのビル)	
8日 土		埼玉教組「第25回定期大会」(9:30～・国立女性教育会館)
9日 日		
10日 月		
11日 火	「連合埼玉一斉オルグDAY(組織拡大研修会)」(10:00～・ときわ会館中ホール)	埼玉労働局「就職面接会」(13:00～16:00・大宮ソニックシティ地下展示場)
12日 水	組合役員教育プログラム⑤⑥(10:00～16:30・あけぼのビル501)	
13日 木	最低賃金の引上げと遵守を求める街宣行動(18:00～・大宮駅東口)	埼玉地方労働審議会(9:30～・ラフレさいたま)
14日 金	ネット21川越移転セレモニー(18:00～・ネット21川越)	
15日 土		交連労協「20周年レセプション」(13:00～・大宮東天紅)
16日 日		
17日 月		
18日 火	第4回政策制度委員会(14:00～・連合埼玉会議室)	
19日 水		
20日 木	青年委員会第5回幹事会(17:00～・連合埼玉会議室)	
21日 金		
22日 土	組合役員教育プログラム⑦⑧(13:30～16:30・あけぼのビル)	
23日 日	2013平和行動in沖繩(～25日)	
24日 月		
25日 火		
26日 水		連合最低賃金の引上げと遵守を求める全国行動「6.26結集集会」(18:30～20:00・日本教育会館ホール)
27日 木	メンタルヘルス研修会応用編(10:00～17:00・あけぼのビル501)	連合最低賃金担当者会議(10:00～12:00・連合本部)
28日 金	第2回ネットワークSAITAMA21運動運営委員会(10:00～12:00・連合埼玉会議室)	
29日 土		
30日 日		

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

◇政策への関心

各組織・組合員の皆さんに協力いただいた「政策実現のためのアンケート」の集計結果(速報)を5月8日開催の拡大執行委員会で報告した。サンプル数は6,927件である。このアンケートでは政策に関する組合員の関心について、政治・選挙に関する事項について聞いたものである。

1つ目の政策への関心では、国・県・市町村別に関心の高い政策について聞いている。国政における関心の高い政策(3つ以内で回答)は、「景気対策」64.9%、「消費税を含む税金の問題」58.8%、「医療・年金など社会保障」41.7%、以降「雇用対策」38.2%、「子育て・教育問題」30.6%と続く。

県政において重点的に取り組むべき課題として関心の高い政策(5つ以内で回答)は、「総合的な産業・経済振興政策(景気対策)」56.6%、「雇用対策」50.2%、「高齢者福祉・保健医療対策」41.1%、「防災・安全対策」36.5%、「物価・消費者保護対策」35.4%である。

市町村において重点的に取り組むべき課題として関心の高い政策(3つ以内で回答)は、「医療機関の整備・充実」35.1%、「地場産業の振興・まちの活性化」33.9%、「交通機関・道路網の整備」28.3%であり、以降「商店街の整備・買い物など利便性の確保」24.2%、「保育園・学童保育の充実など家庭と職場の両立支援」22.2%である。

国・県・市町村によって選択する政策項目や数に違いがあること、市町村レベルでは居住地の状況によっても感心度に違いが生じていることなどもあり、一概には言えないが、総じて私たちの生活に直結する政策に組合員の関心は高いことがわかる。今後の政策制度改善要求に反映し、共感の得られる政策づくりに努めていきたい。

◇政治への関心

政治・選挙に関するアンケートでは、政治への関心について聞いた。政治に「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と答えた人は74%であり、マスコミ等の世論調査の結果と対比しても組合員の政治への関心は高いことがわかる。さらに、昨年末の衆議院選挙の投票行為を聞いたところ、投票に行った人は76%であり、埼玉県の投票率57.4%、全国59.3%と比べ高い投票率である。

一方、連合本部の調査では2009年8月の民主党が政権交代を成し遂げた衆議院選挙の投票率は88.3%、連合埼玉が調査した2001年7月の参議院選挙の投票率は82.6%

であり、過去の国政選挙における組合員の投票率と比べると低下している。投票に行かなかった理由では、「投票日に用事があった」46.6%、「投票したい政党や候補者がなかった」40.8%、「選挙によって政治がよくなると思えない」37.0%であり、対比した2つの選挙が行われた時期の政治情勢との違いはあるものの、少なくとも「用事があった」については、期日前投票を推進することで解消できるのではないかと。

◇労働組合の影響力

「投票する候補者や政党を決めるにあたって参考にしたものは何か」の問い(3つ以内選択)では、「もともと決まっていたので特になし」42.4%、「労働組合の広報物」31.3%、「組合役員からの働きかけ」28.6%であった。労働組合の広報物や役員からの働きかけなどを参考にした人の約7割が民主党の候補者に投票している。昨今、労働組合の求心力の低下などが問われている中で、労働組合からの何らかのアクションに組合員が反応している証であり、日常の組合活動の大切さを改めて感じる。

一方、「テレビ・新聞などの報道」を参考にしたと答えた人は、自民党が民主党を上まわった。連日の民主党批判などを見聞きする中で、民主党への不信感がつのり長年政権を担ってきた自民党の安定感に期待をしたのかもしれない。

「候補者・政党に投票した理由」を尋ねた設問(3つ以内選択)では、小選挙区では「信頼できそうな人物」30.0%、「他に入れるよりはまし」27.8%、「労働組合が推薦」26.4%である。比例代表では「労働組合が推薦」27.4%、「他に入れるよりはまし」26.5%、「支持または期待できる政党」24.5%である。「労働組合が推薦」と答えた人の投票先を見ると、小選挙区では民主党候補に約9割、比例代表では約8割が民主党に投票している。「他に入れるよりはまし」と答えた人の投票先は、小選挙区・比例代表ともに民主党が自民党を数ポイント上まわった。小選挙区で「信頼できそうな人物」と答えた人の投票先は、民主党が約5割である。

結果から言えることは、組合員の74%が政治に関心があり、組合員の76%が投票に行っている。労働組合が推薦し、組合役員が働きかけ、労働組合の広報物や集会をつうじ、政策や人柄などを組合員に伝え、協力を求める。何を今更と言われるかもしれないが、組合員の理解・協力を得るための奇策などあり得ない。粘り強い働きかけが連合組織内候補予定者9名と埼玉選挙区推薦候補予定者への理解・協力を繋がるものと思う。

2013.5.23